ファミリーサポート・ぐりとぐら の あゆみ

平成10年度 (1998)

○上伊那初の「保育サービス講習会」(駒ヶ根市 女性ふれあい館主催)に参加。

保育サポーター17名誕生

平成11年度 (1999)

会員数 17名	お預かり(5~12月) のべ140人
---------	--------------------

○「ファミリーサポート・ぐりとぐら」と命名

☆講演会「こどもの心をよんでいますか? 県看護大 石川利江」開催

☆看護大学「子どもの虐待防止研究会」「たんぽぽの会(アトピーをもつ子どもと親の会)への参加(～現在まで)

☆「子育て関連サークル連絡会」発足の呼びかけと、とまとめ(～現在まで継続参加)

☆ふれあい広場参加(～現在まで)

☆ホーム祭参加(～2022年度より赤穂公民館合同「すずらん文化祭」とない現在まで参加)

○女性団体連絡会登録活動(～2009年まで)

○ボランティア連絡協議会登録活動(～現在まで継続活動)

○市民ネットアルフス登録活動(～2000年まで)

【市 飯坂保育園内子育て支援室 開室】

平成12年度(2000)

会員数 23名	お預かり(1～12月) のべ295件 のべ729人
---------	---------------------------

○託児問い合わせ専用の携帯電話を設置 090-3221-4666

○障がい児の託児をはじめる(タイムケア事業の引き受け団体となる)

☆「子育て交流会」2回開催

☆公開講座「こどものからだの発達と病気 昭和伊南総合病院 滝芳樹」開催

☆第1回「こどもとおかあさんのための音楽会バイオリン・ピアノ・オーボエ」開催

☆「子育て中のお母さんのための市町村合併についての説明会」開催

○市内「子連れで利用できる施設一覧」作成(子育て関連サークル連絡会)

○男女共同参画研究集会で子育ての分科会を担当

平成13年度(2001)

会員数 34名

お預かり(1~12月) のべ696件 のべ1278人

○託児おもちゃ、活動用エプロンの購入

○市のホリデーサポート事業(休日のお預かり)の引き受け団体として登録

☆「子育て交流会」2回開催

☆講演会「こどもの虐待ってどんなこと？」 県看護大 北山秋雄」開催

☆第2回「こどもとおかあさんと森の音楽会 フルート・オーボエ・ピアノ」開催

平成14年度 (2002)

会員数 37名

お預かり(1~12月) のべ655件 のべ1261人

○土曜保育を市に要請

☆「子育て交流会」2回開催

☆公開勉強会「こどもの育て方それぞれ～預けますか？預けませんか？～ 県看護大 吉沢豊子」

☆第3回「こどもといっしょに森の音楽会 木管五重奏」開催

○子育て支援冊子初版「親子でおでかけマップ」発行 (子育て支援室)

○「駒ヶ根市に幼い子どもと、子どもを育てる人たちが集える場所についてのお願い」の署名活動開始

(子育て関連サークル連絡会)

平成15年度（2003）

会員数 33名	お預かり(1~12月) のべ641件 のべ1258人
---------	----------------------------

〇ぐいとぐらの名前使用について、福音館書店を通じて作者に許可をいただく。

☆第4回「こどもといっしょに森の音楽会 2台のピアノ・オカリナ」開催

〇平成14年度に引き続き「駒ヶ根市に幼い子どもと、子どもを育てる人たちが集える場所についての
お願い」の署名活動と市への陳情

→ 駅前アルパ3階に「きっずらんど」オープン(10月)

〇子育て関連サークル連絡会から、新サークル「おでかけママズ」が独立し活動開始

【市 土曜拠点保育開始】

〇図書館協議会参加(～現在まで継続参加)

平成16年度（2004）

会員数 32名	お預かり(1~12月) のべ406件 のべ1368人
---------	----------------------------

☆「子育て交流会」開催

☆第5回「こどもといっしょに森の音楽会 ソプラノトリオとピアノで森の秋」開催

☆公開講座「子育て中のお母さんのための市町村合併説明会」開催（企画財政課 講師）

〇子育て支援冊子第2版「おでかけママズ」発行

○食育懇話会参加(～2004年まで)

【 市 5歳児検診を始める 】

平成17年度 (2005)

会員数 40名

お預かり(1～12月) のべ524件 のべ1358人

☆第6回「こどもといっしょに森の音楽会 アンサンブルファンファールのクリスマス(金管5重奏)」開催

☆ふれあい広場 当年より「ふれあい魚つり」で参加

【 あけぼの園 「つくし園」として市に移行 】

平成18年度 (2006)

会員数 35名

お預かり(1～12月) のべ510件 のべ1375人

○女性ふれあい館託児室の避難マニュアルを作成・掲示

○非常持ち出し袋・防災頭巾を設置

☆第7回「こどもといっしょに森の音楽会 アルパとピアノのフルーツと」開催

○子ども用品フリーマーケット開始 年2回 (子育て関連サークル連絡会)

○男女共同参画研究集会で子育ての分科会を担当

○次世代育成懇話会(子育て10箇条策定)参加(～2007年まで)

平成19年度（2007）

会員数 30名

お預かり(1~12月) のべ456件 のべ1250人

☆第8回「こどもといっしょに森の音楽会 バイオリンとチェロの調べ風に乗って」開催

○市ファミリーサポートセンターの設立の可否等を行政とともに検討をはじめ

○昭和伊南総合病院から産科がなくなる問題についての勉強会「昭和伊南総合病院から産科がなくなるって本当ですか？」の開催を中心となって進める

→ 「安心して安全な出産ができる環境を考える会(in 伊南)」へ

○子育て支援冊子第3版「おでかけママズ」発行

平成20年度（2008）

会員数 31名

お預かり(1~12月) のべ238件 のべ 688人

○おもちゃの家より玩具を譲り受ける

☆第9回「こどもといっしょに森の音楽会 高原の秋はずむマリンバ」開催

○駒ヶ根市社会福祉協議会より活動表彰を受ける

○市(杜協)のファミリーサポートセンター立ち上げのための話し合いと準備を進める

【 つくし園 きらら(元観成園)に移転 】

【 伊那養護学校「小学部はなももの里」分教室開室(中沢小学校内) 】

平成21年度 (2009)

会員数 30名	お預かり(1~12月) のべ146件 のべ 409人
----------------	-----------------------------------

☆公開講習会「緊急サポート講習会」開催

☆第10回「こどもといっしょに森の音楽会 日本の音と秋の風(和楽器ユニット)」開催

○市(社協)のファミリーサポートセンタースタート(4月) 当会会員も協力会員として登録

○市民活動センター「ぱとな」登録 (10月オープン)

平成22年度 (2010)

会員数 26名	お預かり(1~12月) のべ105件 のべ 302人
----------------	-----------------------------------

☆第11回「こどもといっしょに森の音楽会 新米パパが歌う子どもに聴かせたいうた(テノール)」開催

☆公開勉強会「子どもの権利条約について教えてください」元人権擁護委員・中村榮三」開催

○子育て支援冊子第4版「おでかけマママップ」発行

【 伊那養護学校「中学部はなももの里」分教室開室(東中学校内) 】

平成23年度 (2011)

会員数 17名 | **お預かり(1~12月) のべ119件 のべ 237人**

○ふれあい広場 当年より昼食部協力参加

☆「子どもによる子どものための子どもの権利条約」を赤穂中に掲示

平成24年度 (2012)

会員数 17名 | **お預かり(1~12月) のべ72件 のべ 210人**

○ぐいとぐらの大同窓会を開催

○「たかずやの里」建て替えのための寄付を行う

○子育て事業リーダー養成講座(市こども課)に参加

【 社協にボランティアセンター設置 (ボランティア連絡協議会) 】

平成25年度 (2013)

会員数 18名 | **お預かり(1~12月) のべ107件 のべ 295人**

○「子育てひろば ひらけごま」が会員として参加。協力活動が始める

○文化センター託児室の避難マニュアルのまとめ直しと再掲示を行う

○送迎託児料金の見直しを行う

○長野県社会福祉協議会より活動表彰を受ける

☆「訪問型子育て支援 ホームスタート」についての学習(清瀬市ピッコロ 小俣みどり代表)

☆ホーム祭にて「伊那谷(辰野～飯田)市町村別お子さんのお預かり事業状況調査」のまとめを展示

○経塚保育園建て替えについて市子ども課担当者と懇談

○駒ヶ根市「子ども子育て会議」への参加(～平成30年度まで継続参加)

○東京都中野区「ココラク」との交流会(駒ヶ根市観光協会主催)

平成26年度 (2014)

会員数 16名	お預かり(1～12月) のべ187件 のべ325人
---------	---------------------------

○会の対外関係を整理し、関係図を作成

☆「伊那市児童養護施設 たかずやの里」「宮田村子育て総合施設うめっこらんど」見学

☆ホーム祭にて「たかずやの里」「うめっこらんど」のまとめと「ひらけごま」の活動展示

○経塚保育園建て替えに伴い、子育て支援施設について市子ども課担当者と懇談

平成27年度 (2015)

会員数 14名	お預かり(1～12月) のべ134件 のべ364人
---------	---------------------------

○「子育てひろば ひらけごま」が「地域での子どもの居場所づくり事業」として活動

☆「切れ目のないケアについて」(おひさま助産院助産師 小林 まゆみ)

- ☆「放課後デイサービスについて」(障害児相談支援事業所しろくまジャンプ 武井弘江)
- ☆十二天の森(駒ヶ根市きっずあそびパーク)見学と散策
- ☆安曇野市子育てひろば「ぽおぽお」 飯田市子育てサロン「おしゃべいサラダ」見学
- ☆ホーム祭にて「ぽおぽお」のまとめを展示

○少子化対策会議、地方創生会議への参加 (2018年度まで)

○経塚保育園建て替えに伴い、市子ども課担当者と懇談

○子育て支援士2種 受講

平成28年度 (2016)

会員数 18名	お預かり(1~12月) のべ101件 のべ340人
---------	---------------------------

- これまでに作成した託児関連資料、マニュアル全ての見直しと整理を行う
- 会の法人化への研究(子ども課とともに県のセミナーへの参加、個別調査等)を行う
- 総会にて法人化を決定
- 経塚保育園内新設予定の「子育てひろば」について共に準備をすすめる
(新しい経塚保育園見学、子育て支援室との懇談、担当者による準備)
- ☆飯田市「おしゃべいサラダ」「長野こどもの城」見学と懇談

☆ホーム祭にて「駒ヶ根市における託児の経過と現在の状況」「ひらけごま」の活動を展示

○当会託児管理担当が市のファミリーサポートセンターのコーディネーターを兼務

○当会会員2名が子育てひろば「まあるくなあれ♪」職員となる

○子育て支援士2種、ひろば全協全国交流会、女性労働協会事故防止セミナー、

ひろば全協リーダーシップ研修 受講

〔 市 経塚保育園建て替え完成 〕

〔 市 子育て支援センター・一時預かり室が飯坂から経塚へ移転 〕

〔 市 子育てひろば「まあるくなあれ♪」オープン 〕

〔 市 8カ月未満の子どもの一時的預かり保育事業開始 〕

〔 市 病児保育(まえやま内科胃腸科クリニック内 病児保育室へ委託) 開始 〕

〔 ファミリーサポートセンター 社協委託から市の直営へ 〕

平成29年度 (2017)

会員数 19名	お預かり(1~12月) のべ225件 のべ743人
----------------	----------------------------------

他、保育協力会員登録22名

○市のファミリーサポートセンターに代わり、団体託児を当会にて受け入れる

○会の法人化見送り決定(市の事業委託見送りにより)

○保育協力会員を会員登録する

○高砂園へ活動拠点を設置し、休日、早朝、夜間のお預かりが無理なく受けられるようになる

○特別会員として5名の専門職が入会する

○ふれあい広場へ介護友達ボランティア部(休憩テント、付き添い)で参加

☆公開学習会「お母さんがいきいき子育てするために(長野県看護大学 清水嘉子学長)」開催

☆飯田市子育てサロン「おしゃべりサラダ」視察と懇談

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

○子育て支援施設等の委託について教育長他(次長・課長・係長)との懇談を行う

○議会にて子育て支援施設等の委託についての市の考え方を質問

〔 団体託児 市のファミリーサポートセンター事業の対象外となる 〕

〔 市子ども課 経塚保育園内子育て支援施設(ひろば等)を平成33年度～委託に出す為の計画と予算を3か年計画に盛り〕

平成30年度 (2018)

会員数 18名

お預かり(1~12月) のべ310件 のべ986人

他、保育協力会員18名、特別会員5名

○駒ヶ根市文化財団奨励賞を受賞する

○赤い羽根共同募金を受け、ホームページ作成、高砂園託児室整備をする

○新年度からの託児料金、会員、会費見直し(団体会員新設)の検討と依頼をする

○保育協力会員の交流会を行う

○教育委員会次長、子ども課課長、係長との懇談を行う

○全国保育グループ連絡会に参加する

☆公開学習会「子どもの心と気持ち、育てる人の心と気持ち」(長野県看護大学学長北山秋雄)開催

☆第12回「子どもといっしょに街の音楽会(バイオリンとピアノを楽しみましょう♪)」開催

(Vi 原ゆかり、Pf 川上陽子)

○病院運営審議会、あいかた検討委員会への参加(お産の会に引き続き2010年より現在まで)

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

平成31年度(令和元年度) (2019)

会員数 18名	お預かり(1~12月) のべ279件 のべ868人
---------	---------------------------

他、保育協力会員18名、特別会員5名

○駒ヶ根市市政65周年市政功労賞を受賞する

○会発足20周年の同窓会を行う(高砂園にて)

○規約改訂により、団体託児の依頼団体及び協力会員について年会費をいただく

○活動用エフロンを新調(イラストさとはつみ、プリント駒ヶ根工業高校の協力による)

○保育協力会員の交流会を行う

○子ども課課長、係長との懇談を行う

○駒ヶ根市保健師との懇談を行う

○時期市長選候補者2名との懇談をそれぞれ行う(伊藤ゆうどう氏、小松原繁樹氏)

○ふれあい広場、高砂園ふれあいの集い、ホーム祭への参加

☆第13回「子どもといっしょに街の音楽会(シンガーソングライター湯澤かよこ)」開催

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

【市子ども課 3か年計画から、経塚保育園内子育て支援施設(ひろば等)の委託予算を外す】

令和2年度 (2020)

会員数 18名

お預かり(1~12月) のべ151件 のべ323人

他、保育協力会員11名、特別会員5名

★新型コロナウイルスの感染拡大により、活動が大きく制限される。

○保育協力会員の交流会を行う

○子ども課課長、係長との懇談を行う

○託児料金(預かる側)の改訂を検討する(令和3年度より新料金スタート)

☆子育てひろば学習会を行う 参加:他市町村も含めた関係者40名

「もっと活かせるかもしれない!子育てひろばの繋がりを考える」

～地域子育て支援拠点事業に期待される役割～(NPO 法人ママーズネット代表 中條美奈子さん)リモート

☆災害ボランティア立ち上げ訓練に参加する(ボランティア連絡協議会、社協)

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる。

☆ホーム祭にて活動展示を行う(ホーム祭としては最後)

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターへの協力を行う

令和3年度 (2021)

会員数 14名	お預かり(1～12月) のべ243件 のべ384人
---------	---------------------------

他、保育協力会員13名、特別会員5名

★前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により活動が大きく制限される。

託児数はやや戻る。

○保育協力会員との交流会を行う

○子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

○アウトリーチに向けての学習会を 3 回行う

「駒ヶ根市の子育て支援内容の確認と守秘義務について」ぐいとぐら託児コーディネーター 小倉絵里香

「耳を澄ませて心を結ぶ～あなたの思いを上手に伝えるアプローチを目指して～」社会福祉士 弓田香織

「あなたの力を貸してください～産後間もないママと赤ちゃんにできること～」助産師 小林まゆみ(リモート)

○図書館購入の児童書 6 冊のスポンサーとなる(こどものとも(012・年少版・年中版)、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

○託児料金(預かる側)の改定

平日 1 時間あたり 600 円→850 円 土日祝日 1 時間あたり 700 円→950 円

預ける方の料金を据え置くため、差額分を企業、個人からの寄付金で補填する

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる

☆第1回すずらん文化祭(公民館と旧女性ふれあい館合同)にて活動展示を行う

○子育てひろば「まあるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターへの協力を行う

令和4年度（2022）

会員数 14名 | **お預かり(1～12月) のべ105件 のべ183人**

他、保育協力会員12名、特別会員5名

★前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により活動が制限される。

○当会扱いのお預り数は、前年度の半数程度となった。これは、令和4年度より駒ヶ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったことから、市で扱えるお預かりは市のファミリーサポートセンター利用を進めた結果あり、利用者にとってはプラスとなった。

○保育協力会員との交流会を行う

○子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

○アウトリーチに向けての学習会を3回行う

「耳を澄ませて心をつなぐ Part2」社会福祉士 弓田香織さん(10月)

「子どもの虐待をめぐって」長野県看護大学名誉教授 北山秋雄先生(12月)

「お子さんを預かる私たちが元気であるには」助産師 小林まゆみさん(2月)

○図書館購入の児童書6冊のスポンサーを継続(こどものとも(012・年少版・年中版)、

こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

○上伊那全市町村の子育て支援について、各市町村の協力を得て約10年ぶりに調査。一覧にまとめ、すずらん文化祭で発表し、まとめを各市町村へフィードバックする。

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる

☆第2回すずらん文化祭(公民館と旧女性ふれあい館合同)にて上伊那全市町村の子育て支援調査結果を展示する。

☆市民活動支援センターの登録団体となり(再登録)「ぼとな祭」で活動紹介を行う。

○女性労働協会グループ保険対象見直しに伴い、全会員への「保育サポート講習会」終了確認と、保育士等有資格者の改めての受講などの対応を行う。

○ファミリーサポートセンターへの協力を行う

○子ども服フリマの開催協力を行う

○図書館協議会参加(2003年～)

【駒ヶ根市ファミリーサポートセンター 預かり手の時間あたり料金を600円⇒850円に改訂

依頼者に1時間あたり250円の補助を新設]

【飯島町おひさま病児保育始まる(のどかクリニック併設)】

令和5年度（2023）

会員数 14名 | **お預かり(4～3月) のべ105件 のべ183人**

他、保育協力会員11名、特別会員5名

★新型コロナウイルスの5類移行により、対面活動が徐々に元に戻る。

○当会扱いのお預り数は、前年度の半数程度となった。これは、令和4年度より駒ヶ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったこと、市担当者の丁寧な対応、当会からも市の制度利用を勧めた結果、市のファミリーサポートセンター利用が増えたことによる。

○保育協力会員との交流会を行う

○子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

○子育て支援に繋がる学習会を2回行う

「今どきの赤ちゃん、赤ちゃんのいる生活」おひさま助産院 小林まゆみさん(6月)

「知っておこう、駒ヶ根市の子育て支援制度いろいろ」駒ヶ根市子ども課保健師 木下真唯さん(6月)

「耳を澄ませて心をつなぐ Part3～みえづらいSOSを支援につなぐために」社会福祉士 弓田香織さん(11月)

○図書館購入の児童書 6冊のスポンサーを継続(こどものとも(012・年少版・年中版)、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

○中央大学 FLT 天田ゼミ「駒ヶ根市における子育て支援調査」ヒアリング受け入れ(9月)

☆ふれあい広場(初のふれあいセンター会場)・高砂園ふれあいまつり(9月同日開催)活動展示を行う。

☆第3回すずらん文化祭(駒ヶ根文化サークル協会)にて活動展示を行う。

☆「ばとな祭」で活動展示を行う。

○市長選候補者との懇談を行う(12月、1月)

○ファミリーサポートセンターへの協力を行う

○子ども服フリマの開催協力を行う

○図書館協議会参加(2003年～)